

NSFの評議会、新議長を選出（5月17日）

NSFの評議会(National Science Board: NSB)は、新議長にダン・アービズ氏(Dan Arvizu)、新副議長にケルビン・ドログマイヤー氏(Kelvin Droegemeier)を選出した。任期はいずれも2年間となる。

アービズ氏は、ニューメキシコ州立大学で機械工学の学士号を取得後、スタンフォード大学で同分野の修士号及び博士号を取得している。同氏は、エネルギー省の国立再生可能エネルギー研究所所長であり、2004年にブッシュ前大統領によりNSB委員に指名され、6年の任期を務めた後、オバマ大統領によって同委員に再指名された経緯を持つ。

一方、副議長に選出されたドログマイヤー氏は、オクラホマ大学の教授であり、暴風雨と竜巻の力学及び予測可能性を専門とする。同氏も2004年にNSB委員に指名され、2011年に再指名されている。

NSBはその他、新執行委員に、コロラド大学の化学及び生物化学教授カール・ラインバーガー氏(Carl Lineberger)を選出した。同氏は、ジョージア工科大学にて、電気工学分野の学士号、修士号、博士号を取得、2011年にNSB委員に指名されている。

National Science Foundation, New Leadership Team Elected for the National Science Board

http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=124253&org=NSF&from=news